

平成25年度 事務事業評価調査〔ソフト事業〕

事務事業コード

13411001

平成25年度作成

平成24年度  
実施事業

事務事業名

低所得者援護対策・たすけあい金庫事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	4	自立した暮らしへの支援
小分類	1	自立した暮らしへの支援
主要な施策	1	①生活安定対策の推進
事務事業番号	001	事業開始年度 昭和 53 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	登別市社会福祉協議会が行なうたすけあい金庫事業の安定的な貸付を継続し、低所得者世帯の経済的な生活安定と福祉の向上に努める。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	低所得者世帯の経済的な生活安定と福祉の向上を図るため、たすけあい金庫貸付原資金として社会福祉協議会に貸付を行なう。  ・主な貸付対象 応急生活費、高額療養費の貸付  ・平成24年度貸付実績 66件、2,375,000円
今後の方向性	低所得者を対象として、社会福祉協議会が応急援護資金、高額療養費等に貸付し、その世帯の自立更生と生活安定を図り、住民福祉の充実に努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
一般財源	名称	千円					
事業費 合計			5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 貸付金額（年度ベース）	千円	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	5,000	5,000			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
慢性的な経済状況の悪化等により、たすけあい金庫から応急資金を貸付ける件数も年々増加している。また、低所得者の増加により、貸付金の返還が困難となっている家庭も多いためたすけあい金庫事業に影響を与えている。	市が社会福祉協議会へ貸付することにより、たすけあい金庫事業の安定的な運営を支援し、低所得者世帯の自立更生と生活の安定を図り、福祉の充実に寄与する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 たすけあい金庫事業は、低所得者世帯への応急援護資金を貸付けることにより、その世帯の生活安定と自立更生を目的として、社会福祉協議会が実施しており、市が原資を貸付けることは妥当である。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 貸付に係る相談に加え、利用者の生活に関する助言等も行い、制度の有効活用を図っており必要性は高い。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 滞納額が増加傾向にあるため、対象世帯を当面は確実に償還できる世帯に限定し、効率性を高めている。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 低所得者世帯への貸付金原資であり、近年の経済状況の悪化により貸付を希望する世帯も増加しており、成果を感じることができる。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《 Check 》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	滞納額が増加傾向にあるが、世界的な経済不況等による失業者の増加により、低所得者世帯の生活が不安定な状況となっていることから、応急的援護資金の貸付制度は必要である。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--